



## ごあいさつ

皆さま方には、平素より格別のご支援、ご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。

本年も、当金庫の業務内容や活動状況などにつきましてご理解を深めていただくため、「半田信用金庫2022 ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願いいたします。

令和3年度の経済状況につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によりやや弱含む局面もあったものの、基調としては緩やかに回復傾向であったと認識しております。ただ1月以降、オミクロン株の流行により、個人消費を中心に回復はやや足踏み状態となっており、飲食業や宿泊業など対面型のサービス部門の本格的な回復も、今後の感染状況によるものと思われまます。

先行きにつきましては、感染症の影響や企業部門の供給制約の影響が徐々に和らぎ、外需の回復や財政・金融政策の下支えもあって、経済の回復基調は継続するものと思われまます。しかしながら、変異株を含めた感染症拡大の可能性や、ウクライナ情勢が日本の経済や物価に与える影響については極めて不確実性が高く、今後も経済情勢を注視していく必要があると考えまます。

令和3年度よりスタートした中期経営計画『収益力と営業力強化に向けた「はんしん3か年計画」』の主たる目標は文字通り「収益力と営業力強化」です。地域社会への貢献を続けていくためには、「収益力と営業力強化」を図ることで、当金庫の持続的成長を促すことが必要不可欠であると考えております。

一方、「収益力と営業力強化」の前提として、「お客様第一主義」を徹底することがなにより重要であると考えております。お客様の立場になり地域の皆様のニーズに的確に応えることで、当金庫への信頼や好感を高めることに注力してまいります。

このような活動をベースに、信用金庫の原点に立ち返り、地域の小規模・零細企業への金融支援をきめ細かく行うとともに、引き続き経費の削減、業務の効率化の推進に取り組んでまいります。

以上のとおり「お客様第一主義」のもと「収益力と営業力強化」を進めるべく、2年目となる中期経営計画『収益力と営業力強化に向けた「はんしん3か年計画」』の各施策を着実に推進していく所存であります。

今後も地域における当金庫の存在感を高めて、地域社会において必要とされる金融機関であり続けることを目指し、役職員一同一層の努力を重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和4年7月

理事長 古田 明典